令和４年度　第８回 理事会議事録

日時：令和４年 12 月 27 日（火）19：05～20：55
場所：Web 会議、県士会事務所
出席：（理事）磯野、三科、北山、小林（司）、有泉、
平賀(篤)、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、
鮎川、渡邊
（部長）小林（泰）、丸茂、秋山
（副部長）平賀（満）
書記：笠井

会員管理情報

慶事０件　弔事０件　施設数 149 施設
会員数 962 名（施設 897 名　自宅 65 名）

磯野会長より挨拶

・参議院議員の次点となっている協会の田中理事が議員となるかもしれないとの話があった。(高知、徳島の合区の参議院議員の方が徳島県の知事選に出馬に伴い 1 月に議員辞職をするためとのこと)
・12 月 12 日に協会との意見交換会があり要望を伝えた。
・12 月 13 日は連盟の総会に出席した。連盟の会長、副会長が退任するため今後の体制について相談があった。
・12 月 21 日に長崎幸太郎氏の選挙事務所に連盟の会長と一緒に推薦を持って行った。
・11 月 21 日に開催された自民党リハビリテーションを考える議員連盟総会のダイジェスト動画が、斉藤会長より送られてきたので皆さんに情報共有する。

Ⅰ.審議事項（全７題）

1. リハマップ作成のための施設アンケートについて(平賀局長)

士会支部の事業としてリハマップ作成が今年度承認されている。施設間の連携を促進させるための一覧表として作成予定で、聴取項目についていただいた意見を基に施設へのアンケートを作成した。

施設ごとの特性を考慮して医療施設、介護施設、訪問で多少質問内容を変えている。複数機能を持っている施設があるため、アンケートは全種類を送付する予定。回答については google フォームを予定。形式やアンケート項目について審議をお願いしたい。

質問・意見

平賀：回答は基本的に Google フォームを使用。他には料金後納の郵便や FAX を使うなど、できるだけ費用がかからない対応を検討していきたい。
磯野：施設区分は病院と介護保険施設と訪問事業所でよいか？
平賀：その区分でよい。訪問は訪問介護でも訪問リハでもどちらでもよい想定として作成した。
磯野：デイサービスは介護保険施設の括りでよいか。
平賀：その括りでよい。何かよい文言があれば教えていただきたい。
磯野：「介護保険施設・事業所」がよい。
平賀：介護保険施設は通所を想定して作成した。全ての機能を持っているところは、3 種類全てに回答をしてもらいたい。
自費で診療をしているところは除外したが、ご意見をいただきたい。
磯野：自費診療の施設はどの程度あるのか？
有泉：どの程度あるのか、今すぐには分からない。
小林司：会員の中でも保険外で診療をしている所もある。通所リハの括り付けが書きにくいと思う。
平賀：通所リハは介護の分類で書きやすいように検討していきたい。会員が在籍していない施設に対してどうしたらよいか。
井村：通所リハ自体に PT の会員は居ないが、病院に所属している会員の PT が通所リハに出向した場合、施設に対しての調査か、会員に対して調査なのか難しいと思った。
平賀：会員の人数ではなく PT の人数を聞こうと思っている。グループ病院等はお声かけをお願いしたい。
有泉：非会員の施設にアンケートを送ることで、全体像を把握するための非会員の PT 数など、事務局で把握できないデータが出るかもしれない。
平賀：非会員のみの施設にもアンケートを送っていくことでもよいと思う。

結果

平賀局長がアンケートを修正したものを次回の理事会で再度、提示する。

2. 山梨県理学療法士連盟への事務所の名称使用について（有泉局長）

現在、連盟の事務局を担っている石和温泉病院が事務局として名前を使用することができなくなった。そのため、事務局を移転しなければならないが、今後、同様のケースが起こる可能性を考えると士会の事務所を連盟事務所として、県の選挙管理委員会に届け出させてもらえないかとの相談が連盟からあった。

意見

北山：事務所に移転することになった場合、事務員に負担がかからないか。
有泉：連盟の方に郵便物を取りにきてもらうなど、管理の仕方等、運用について話しあえば負担はないと思う。
磯野：又貸しにはならないか。登記上とはいえ別の団体に貸すことはよいのか。
有泉：不動産管理会社に確認する。
鈴木：湯村温泉病院が事務所になった経緯として、人がいなかったり、固定電話がないからだと聞いている。連盟は承知しているのか。

有泉：必要なのは「住所と電話番号がある事」だと聞いている。
北山：将来的にどうしていくのか。あり方をみえるように検討してもらいたい。
三科：年度末の会計報告時に会員に連盟に事務所を貸していることを伝える必要があると思う。連盟も報告する必要があるのではないか。
井村：理事会だけではなく、総会などで一般会員にも承諾をしてもらう必要があるのではないか。
磯野：物理的に可能かどうかを不動産屋さんに問い合わせる。
小林司：日本理学療法士連盟は協会内となっている。

結果
不動産管理会社に登記上問題がないか、確認をとった上で連盟と話し合う。
経過について1月の理事会で報告する。

3.公開講座に代わるチラシの新聞折り込み配布について（井村局長）
コロナ禍で対面での公開講座開催が難しい状況であり、理学療法士の仕事や県士会活動の周知・啓蒙、フレイル予防へ繋がる運動啓発の一助となるチラシの配布を検討している。
磯野：案としてはとても良い。2年前のチラシは健康指導士が作成した物なので、今回はPTが作成した方がよい。
井村：PTが作成した物で何かよいものはあるか。
磯野：協会が作成した物があると思う。
井村：使用できるかどうか確認していく。年度内に作成できるように検討していく。

結果
チラシを配布することについては問題ない。チラシの内容については検討していく。

4.地域理学療法研修会の開催について（鈴木局長）
第23回地域理学療法研修会開催について以下の通り提案する。
日時：3月11日（土）18：30～20：00
開催方式：ZOOMによるオンライン、講義形式
テーマ：在宅医師が地域の理学療法士に期待する事
～がん患者への関わりを通じて～
講師：あすか在宅クリニック　高添あすか先生

結果　承認。

5. 常設委員会リハビリテーション専門職団体協議会研修会等の県士会主催対応の研修について（鮎川局長）
常設委員会、リハビリテーション専門職団体協議会等の主催する研修会は一律に県士会主催対応としたい。
主催となれば資料に添付したエクセルシートを記載して、県士会主催研修会を申請する旨を各委員会にも周知していただきたい。

結果　承認。

6.第4回学術研修会事業報告について（渡辺局長）
研修会開催について以下の通り提案する。
日程：2月5日　10：00～13：00予定
会場：オンライン開催
講師：鈴木俊明先生（関西医療大学）
テーマ：「体幹機能評価と運動療法～中枢神経疾患を中心に～」

結果
承認。

7.学術研修部で管理している物品の保管場所について（渡辺局長）
現在、物品を個人管理で保管している。施設や個人に負担がかかっているので、湯村の事務所に保管しておくことはできるか。
有泉：保管することは可能。鍵を保持している人が限られているので、物品の出し入れは制約がある。

結果　承認　部内に結果を伝え検討していく。

Ⅱ.報告事項
1.各委員会等の報告
①災害対策委員会（小林副会長）
災害対策委員会研修会の開催について下記の通り計画している。
日時：3月10日（金）講師の都合により変更あり。
開催方式：WEB
講師：古屋好美氏（甲府市福祉保健部甲府市保健所所長）へ依頼予定。
内容：公衆衛生、DHEAT（仮）

②がんリハ推進委員会（小林副会長）
1)山梨県リハビリテーション専門職団体協議会2002年度第2回山梨県がんリハビリテーション推進委員会参加報告
・山梨県がんリハビリテーション研修事業について、県で事業評価として行うアンケート内容について検討した。
・公開講座、専門職の企画、運営について検討し令和4年度山梨県がんリハビリテーション研修事業を下記の通り確定した。
日時：2月25日（土）13：00～16：40
開催方式：オンライン
内容：県民公開講座「がん患者におけるリハビリテーション診療とがんロコモ」
専門研修会（シンポジウム）
「がん患者のリハビリテーションの実際」
講師：公開講座
酒井良忠先生（神戸大学大学院医学研究科科講座リハビリテーション機能回復学特命教授）
専門職シンポジスト

PT　山田洋二先生（石和共立病院）
OT　小林克也先生（山梨県立中央病院）
ST　安藤牧子先生（慶応義塾大学病院）

2)山梨県令和４年度がんリハビリテーションネットワーク協議会　第１回ワーキング部会参加報告

今年度の活動は他機関、多職種での連携事例の収集・分析、研修内容への反映、昨年度作成したがんリハビリリーフレットの活用について確認した。次回ワーキング部会までに事例を持ち寄ることとなった。

③学校保健推進執行委員会（有泉局長）

学校保健活動における弁護士との連携について

11 月の理事会で報告した弁護士との連携について 12 月 12 日に弁護士事務所を訪問した。オブバーザーとして東京都士会板倉先生が ZOOM で参加した。

士会として学校保健担当の部門について、これからどのように活動していくか検討中の段階であることを説明した。弁護士の手塚先生より、学校現場における事故は年間でかなりの件数があり、訴訟問題にまで発展するケースもある。

士会員の皆様に学校における事故の現状と PT の参画の必要性を理解してもらうため、研修会などを企画したら、ぜひ話をさせてもらいたいとの言葉があった。

現在、学校保健担当の長田先生と健康科学大の粕山先生に打ち合わせ開催について打診中。古屋局長も都合が合えば参加をお願いしたい。

④働きやすい環境創り検討委員会（井村局長）

企画研修部との合同研修会について研修会を下記の通り企画している。

テーマ 1「リハビリテーション部門の働き方改革～キャリアデザイン・ワークライフバランスを考える～」

テーマ 2「リハビリテーション部門の人材育成と考え方と手法」

日時：テーマ１　3 月 7 日（火）19：00～20：30
　　テーマ２　3 月 14 日（火）19：00～20：30

開催方式：ZOOM によるオンライン

2.各局より報告

①学術大会局（菊池局長）

・第 25 回学術集会の進捗状況の報告

一般演題は事前配信、特別講演・教育講演・一般演題はオンデマンド配信を企画している。

リハーサルを 1 月 18 日に事務所で特別講演講師と予定している。

カリキュラムコードを以下の通り変更した。

・学術集会：区分 7－88 運動器疾患の理学療法
・特別講演：区分 7－84 骨関節障害

また、事務局の PC を借りたいので部長から依頼をする予定。

②社会局（古屋局長）

・令和４年度介護職場人材育成研修開催報告

日時：10 月 6 日（火）、12 月 6 日（火）
　　両日 9：30～12：30
場所：介護実習普及センター
講師：派遣士会員　帝京科学大学　佐野徳雄先生、渡邊修司先生、平賀篤先生
内容：運動や体操、病気の特徴を活かした介助方法について～理学療法士から学ぶ自立支援～
参加者：10 月 6 日　30 名
　　12 月 6 日　14 名

・スポーツ理学療法勉強会開催報告

日時：10 月 29 日(土)　11：00～12：30
内容：女性アスリートとスポーツ傷害 ～婦人科領域で気を付けることとは～
参加者：25 名

・北杜市スポーツ少年団指導者研修会開催報告

日時：11 月 26 日（土）9：00～11：00
場所：北杜市明野総合会館
内容：テーピングの基礎
講師：スポーツＰＴ部員 4 名
対象：指導者及び保護者
参加者：24 名

・第 2 回全国スポーツ理学療法担当者 WEB 会議

日時：12 月 17 日（土）9：00～12：00
参加者：都道府県士会スポーツ理学療法運営担当者、スポーツ理学療法の全国展開推進運営部会関係者、障がい者スポーツ普及促進部会関係者 60 名、小林部長が参加。

・2023JOC 杯 U20・U17 全国予選大会関東ブロック大会について

日時：12 月 27 日（火）終日
場所：小瀬スポーツ公園　体育館　メインアリーナ
対象：参加選手、大会関係者
内容：試合における医務活動
参加者：10 名

県レスリング連盟より依頼がありスポーツ部員は3名で対応予定。次回、活動報告をする。

③学術大会局（渡邊局長）

・第 3 回学術研修会開催報告

日時：11 月 27 日　10：00～13：00
開催方式：ZOOM によるオンライン
講師：内田学先生　東京医療学院大学
テーマ：姿勢と呼吸から介入する摂食嚥下リハビリテーション
参加者：61 名

④企画局（井村局長）

・アンケート基本事項について

前回、審議の議題として提示した性別に関しては必ず必要な調査の場合は、「男・女」のみで使用。確認はしたいが、必ずしも必要でない場合は無回答の回答項目を入れる、または必須ではない項目にする。婚姻状況につい

ても調査に必要な場合は入れるということで項目を設定した。理事会後、理事にアンケートを送るので確認をしてもらう。

鈴木：google フォームで毎回、アンケートを取る形でよいか。全てを一律にアンケートとして載せて、必須項目にしなければよいのではないか。

井村：まだ、google フォームにするかは考えていない。いろいろ調べたが、必須項目の回答にしなければ問題にはならないと思う。

⑤広報部（大西局長）

・you tube 資料案内について

前回の理事会で提示した you tube による事業説明会の案内を出したのでよろしくお願いしたい。

Ⅲ．事務管理局より（有泉事務局長）

①資料作成の依頼について

年明けから年度末に向けての資料作成の依頼を随時行う。(1 月中下旬) まずは来年度の事業（案）、予算（案）となる。その後、事業報告と決算報告になるので各局、委員会においては準備を進めておいて下さい。

②再度の注意喚起

メールアドレスの流出防止、BCC の利用の徹底について

③やまなし地域リハ・ケアを考える会の報告集について

年明けから順次発送となる。

小林副会長が出席することで調整している。

Ⅳ．その他

①渡辺局長、北山副会長より

1 月 21 日、22 日に開催予定だった委託講習会の臨床動作分析について、コロナ、インフルエンザ感染拡大のため中止とすることにした。実技講習会のため、タイミングを計る必要がある。

②慶弔案内について（磯野会長）

磯野：慶弔についてどのように事務局に連絡がきているのか。

有泉：基本的には県士会の HP に入力してもらい連絡を受けている。直接、電話で連絡が来る場合もある。

③オンライン契約について（磯野会長）

どの様な契約形態が使い勝手がよいか

有泉：zoom は 100 人まで、ウェビナーは 1000 人まで視聴できる。現在、zoom は 2 アカウント、ウェビナーは 1 契約。年間 25 万円弱支払いをしている。

平賀篤：もう少し、ウェビナーの契約が安くできるかもしれない。ウェビナーの使用実績は多いか。

有泉：ウェビナーの使用実績は少ない。

平賀篤：それならば、都度契約でもよいかもしれない。予算的にオンライン契約に年間どの程度算出してもよいか。

有泉：今後は年間 50 万円程度、オンライン契約に算出してもよいと思われる。

磯野：皆さんからご意見をいただき、最大限、利用できるようにしていきたい。

有泉：今までどの様な形で使用していたかを各局長に今後、問いかけていきたいと思うので整理をしておいて下さい。金銭的な契約内容については平賀先生に相談をさせてもらう。

Ⅴ．次回の理事会日程について

理事会 1 月 24 日（火）19：00～

場所　Web 会議

連絡　1 月 20 日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）rpt.shizuka@gmail.com へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。